

# 札幌学院大学 国際交流センター

## NEWSLETTER No. 42

2019年7月12日

発行：国際交流センター

新学期がスタートした…かと思えば、もう学期末試験、夏休みが視界に入る時期になりました。時間はあっというまに流れていきます。この数ヶ月の間、世界でも様々な動きがありました。

メディアから聞こえてくるのは必ずしも良い話ではありませんが、本学では人と人とのつながりを大事にしています。各自が留学生との交流や実際に海外に行く体験を通して、世情に左右されない見方を持ってほしいと思います。

春から夏にかけて、国際交流ではいくつかの受け入れプログラムを行いました。8月に入ると、半期留学を含め海外へ送り出すプログラムも増えます。個人で夏休みに海外に出る計画をしている方もいるでしょう。充実した夏をお過ごしください！



### ①北京農学院との交流プログラム

5月20日から29日にかけて、本学の協定校である中国の「北京農学院」から学生と教職員が来学しました。このうち学生は、主に今年の9月に北京へ派遣される予定の本学学生と学内外で交流したり、中国の音楽を披露するなど有意義な10日間を過ごしました。

今回来日した北京農学院の学生には、日本語が話せる人、英語が流暢な人もいて、本学の学生にとっても何かと刺激になったかもしれません。

一方で、日本のアニメなどポップカルチャーに興味をもつ学生も多く、日本への関心の高さも感じられました。逆に私たちのほうが、中国について知らないことがまだまだあることを実感した部分もありました。



9月に北京農学院に行く学生たちも、徐々に準備を始めています。今から手厚いおもてなしを受けそうな予感がします！

今回の受け入れプログラムでの学生たちとの再会もあるはずですから、楽しみです。

## ②チエンマイ異文化交流プログラム

もう10年にも渡って続いている、タイ・チエンマイ大学との相互交流プログラム。今年は6月21日から7月3日まで、学生・教職員8名が本学に滞在しました。

学内では大学祭でタイの食べ物を作って出店したり、タイのデザートを調理してくれるイベントを行なったりしました。



学外では、江別の小学校を訪ねて児童と交流する日があったり、郊外の工場見学、洞爺湖への一泊旅行へも出かけ、北海道や日本の様々な文化を体験して楽しんだようです。

来年の2月下旬か3月上旬には、今回サポートした本学学生がチエンマイに行く予定なので、こちらでも感動の再会がありそうです！



## ③日本語教育・文化体験プログラム(夏) 開催中です

6月27日から、日本語教育・文化体験プログラムが開催されています。今回は、韓国・中国の学生23名の参加で、2クラスに分かれて日本語の学習にいそしんでいます。

毎日の日本語授業は大変ですが、週末には小樽や富良野、函館といったフィールドトリップがあります。



また、サポートにあたっている本学の学生との日々の交流もプログラムでは重要なところですよ。

プログラム生は7月27日まで本学で過ごします。このプログラムも始まってから今年がちょうど10年目になります。特別なことはできませんが、最後まで有意義に過ごしてくれたらなによりです。

国際交流のホームページもご覧ください！

<http://www.sgu.ac.jp/iec/>



Instagram

インスタグラムもどうぞ！ sgu\_global

